

一橋の留学事情

大学生になったら留学しようと考えている人も多いのではないのでしょうか。一橋には多種多様なプログラムがあり、毎年多くの学生が留学を経験しています。そんな一橋の留学事情について紹介します。きっと皆さんそれぞれビビッとくるものがあること間違いなしです！

留学制度

一橋大学海外派遣留学制度

定番の交換留学制度で、半年または1年という長い期間幅広い協定校の中から自分で選んだ大学へ留学できます。

留学先

カリフォルニア大学、ソウル大学、北京大学、清華大学など計約100校

短期海外語学研修

約1か月間、大学や語学学校に通い、語学力の向上を目指したり異文化交流を通じた新たな経験をしたりすることができます。

留学先

アメリカ、オーストラリア、イギリス、ドイツ、フランス、台湾など

異文化交流研修

長期休みを使い、企業研修やプロジェクト型学習を通じたコミュニケーション能力などの向上を目指すプログラムです。

留学先

スペイン・Bergé社、香港中文大学、マレーシア工科大学

グローバルリーダー育成海外留学制度

一橋の教育・研究の国際化に寄与することを目的とした制度です。世界トップクラスの大学に留学する機会が得られます。

留学先

ハーバード大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、LSE

一橋大学サマースクール等留学制度

夏休みを使い専門的な科目を海外の大学において、英語で学ぶことができる短期留学プログラムです。

留学先

スタンフォード大学、香港大学、カリフォルニア大学、LSEなど

経済学部と法学部にはプログラムが他にもいくつかあるほん！



体験記

留学を経験した先輩たちに①生活全般、②留学先での勉強、③一番の思い出の3つについて聞いてみました！



00 留学先

イギリス・ニューカッスル大学

01 生活全般

平日の生活は一橋での学生生活と同様、日中は授業に出席し、夕方以降はサークル活動に参加したり、友人とご飯を食べたりしました。空きコマは図書館での予習や、寮に戻っての日本にいる家族や友人との電話に時間を使いました。休日の朝は友人と大学のジムでスカッシュをした後、スーパーでの買い出しや洗濯など、必要な家事をひととおり済ませます。午後は課題や授業の予習に充て、夜は日本料理レストランでホールのアルバイトをしていました。

02 留学先での勉強

興味がある科目を幅広く履修することができますが、私は一橋との単位互換を念頭に、自分の専攻に近い国際関係系の科目を中心とした履修を組みました。全ての授業がレクチャーとセミナーという2つの授業形態で展開され、聴講形式のレクチャーで扱った内容への理解を、ディスカッション形式のセミナーを通じて深めます。セミナーの準備として毎週課される膨大なリーディングをこなすことと、ディスカッションについていくことが大変でした。

03 一番の思い出

所属していたサークルを通じて仲良くなったイギリス人の友人の実家に、同サークルのマレーシア人の友人と一緒に何度かお泊まりに行ったことです。ご家族と料理をしたり映画を観たりと、ホームステイのような経験ができました。彼女の実家はロンドンに近かったため、日中は3人でロンドンに行き、市内観光やミュージカル鑑賞をしました。ロンドンではいつも複数のミュージカル公演が行われているので、訪れた際はぜひ観に行ってみてください！



00 留学先

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

01 生活全般

平日は8時ごろに起きて午前の授業に向かいます。毎日1～2コマ授業があり、授業後は夜まで図書館などで自習をして、夕食は寮に帰って自炊していました。夕食後も課題をこなし、大体0時に就寝します。休日は課題の締め切りが迫っているときは自室や図書館にこもって勉強をしていましたが、土日のどちらかは友人と出かけてリフレッシュするようにしていました。気になるカフェに友人と行ってみたい、ハイキングをしたりすることが多かったです。

02 留学先での勉強

授業の種類が非常に豊富で、移民に関する授業からカナダの先住民の授業までさまざまな授業を履修していましたが、全体的にハードでした。レポートなどの課題が頻繁に出され、予習で毎週100ページほどのリーディングを課されていたため、留学初期は空き時間のほとんどを勉強に費やしていました。歴史的な用語が頻出するカナダの歴史の授業は特に大変でしたが、友人と協力して用語の意味をまとめたノートを作成して乗り切りました。

03 一番の思い出

一番の思い出は前期の終わりにシンガポール人の友人を空港まで見送ったことです。私は通年で留学していましたが、前期だけで帰国する留学生もいます。彼女とは現地到着後2日目に遊びに行き、休日出かけたり一緒に日本食を作ったりとたくさんの思い出を作りました。空港で別れる際は感謝や寂しさが込み上げて泣きそうになってしまいました。彼女とは今でもたまに連絡を取り合っており、いつかシンガポールに会いに行こうと思っています！